学校番号	１０１０

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ（後半）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史Ｂ　（山川出版社）						
副教材等	明解世界史図説　タペストリー　（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を暗記科目と考える人が多いようです。年号や用語を理解しながら、体系的に覚えていくことが大切です。常に、どうしてこんなことが起きたのか、その結果どうなったのかを考えていくことが重要です。

２ 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近世ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:近世ヨーロッパ世界の形成について、社会の変化や文化の形成を中心に関心を持って学習しようとしている。 b:近世ヨーロッパ世界の形成について、社会の変化や文化の形成を中心に多面的に考察してまとめる。 c:教科書に掲載されている近世ヨーロッパ世界の形成の資料を適切に活用している。 d:近世ヨーロッパ世界の形成について、社会の変化や文化の形成を中心に現代につながる出来事など基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	 ○ ○	○	 ○ ○	○	a:近世ヨーロッパ世界の展開を各国の事情を踏まえて社会や文化について関心を持って学習しようとしている。 b:近世ヨーロッパ世界の展開を各国の事情を踏まえて社会や文化を多面的に考察してまとめる。 c:教科書に掲載されている近世ヨーロッパ世界の展開の資料を適切に活用している。 d: 世ヨーロッパ世界の展開を各国の事情を踏まえて社会や文化を近代国家のシステムと関連させ、基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○ ○ ○		○	 ○ ○	a:近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立について三つの革命を通じてもたらされた変化について関心を持って学習しようとしている。 b: 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立について三つの革命を通じてもたらされた変化について、多面的に考察してまとめる。 c:教科書に掲載されている近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立の資料を適切に活用している。 d: 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立について三つの革命を通じてもたらされた変化について基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

2学期	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19世紀欧米文化	 ○ ○	○ ○ ○ 	 ○	○ ○ 	a:近代国民国家の形成を、ウィーン体制を中心に各国の情勢を踏まえて、関心を持って学習しようとしている。 b: 近代国民国家の形成を、ウィーン体制を中心に各国の情勢を踏まえて多面的に考察してまとめる。 c: 教科書に掲載されている欧米における近代国民国家の発展の資料を適切に活用している。 d: 近代国民国家の形成を、ウィーン体制を中心に各国の情勢を踏まえて現代に影響を与えている出来事など基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	 ○	○ ○ 		○ ○ ○	a:アジア諸地域の動揺について欧米諸国とアジアの関係を中心に国際情勢やアジアの変化を、関心を持って学習しようとしている。 b: アジア諸地域の動揺について欧米諸国とアジアの関係を中心に国際情勢やアジアの変化を多面的に考察してまとめる。 c: 教科書に掲載されているアジア諸地域の動揺の資料を適切に活用している。 d:アジア諸地域の動揺について欧米諸国とアジアの関係を中心に国際情勢やアジアの変化を現代と関連する出来事など基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
3学期	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	 ○	○ ○ 		○ ○ ○	a:帝国主義とアジアの民族運動について帝国主義の特質やアジアなどの地域に与えた影響を、関心を持って学習しようとしている。 b: 帝国主義とアジアの民族運動について帝国主義の特質やアジアなどの地域に与えた影響を多面的に考察してまとめる。 c:教科書に掲載されている帝国主義とアジアの民族運動の資料を適切に活用している。 d: 帝国主義とアジアの民族運動について帝国主義の特質やアジアなどの地域に与えた影響を現代と関連する出来事など基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○	○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	a: 二つの世界大戦の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を持って学習しようとしている。 b:二つの世界大戦の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察してまとめる。 c: 教科書に掲載されている二つの世界大戦の資料を適切に活用している。 d:二つの世界大戦の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○ ○ ○	○ ○		○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を持って学習しようとしている。 b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察してまとめる。 c:教科書に掲載されている冷戦と第三世界の独立の資料を適切に活用している。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困化 ・現代文明の諸相	○ ○ ○	○ ○	○	○	A:現在の世界を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点を関心を持って学習しようとしている。 b:現在の世界を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点からまとめる。 c: 教科書に掲載されている現在の世界の資料を適切に活用している。 d:現在の世界に関する知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。